

1号トンネル、小千谷頭首工の進捗

1号トンネル工事 シールド到達



図1 トンネル延長

令和3年4月の掘進開始から、約1年2か月をかけてようやく掘進を完了しました。トンネルの全長はL=2.6kmとなっており、令和5年4月のかんがい期から供用を開始する予定です。

下の図は掘進に使用していたシールド機の掘進前と掘進後の写真です。到達地点の立坑は、地表から27 mもの深さとなっています。



図2 シールド機(掘進前)



図3 シールド機(到達後)



図4 新1号トンネル終点部

千城分土工について

千城分土工は、新1号トンネルから千城揚水機場まで水を供給する目的で造成しています。令和4年10月中旬に千城分土工側から新1号トンネルに向けて推進工により掘進を開始し、約1ヶ月かけ、掘進を完了しました。引き続き完成に向けて作業に取り組んでいます。



図5 千城分土工位置



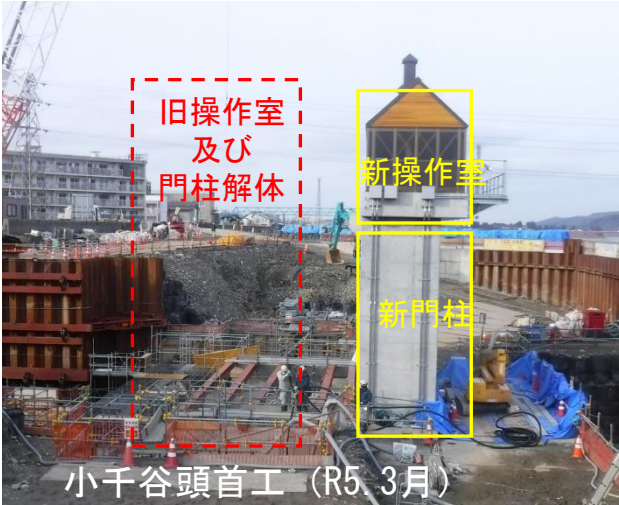
図6 千城分土工の取水口

小千谷頭首工工事進捗

昨年度は新小千谷頭首工の門柱部を施工しましたが、今年度は旧操作室を解体し、3月には新小千谷頭首工の門柱上部に新しい操作室を建設しました。操作室には取水ゲートを開閉する機械や遠隔監視操作を行う機器が配置されています。令和5年4月からの通水開始に向け引き続き工事を進めていきます。



小千谷頭首工（R4. 6月）



小千谷頭首工（R5. 3月）

三古の水だより

〈発刊所〉
信濃川左岸流域
農業水利事業所
〒940-0082
新潟県長岡市千歳
1丁目3番88号
(長岡地方合同庁舎6F)
TEL:0258-31-1011
Fax:0258-37-0215



「三古の水だより」とは？

北陸農政局信濃川左岸流域農業水利事業所が発刊する広報誌です。題字になっている「三古」とは、前歴事業（一期事業）信濃川左岸農業水利事業の原形である昭和20年に樹立した「三古用水改良事業計画」から引用した言葉です。

ちなみに、「三古」は三島郡の「三」と古志郡の「古」より出た本地区を表すものです。

また、当地区は、三度目の国営事業ということもあり、「三」にとっても縁が深い地区としてこの題字としました。

R4年度実施工事

■概要

今年度実施した幹線用水路工事は以下の4件です。工事現場周辺の地域住民や農家の方々にはご迷惑をおかけしましたが、引き続きご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

工事名：7号幹線用水路宝地工区その1工事
施工場所：長岡市宝地町地内
既設水路の老朽化に伴い改修を行う工事です。鋼矢板打設後、底版にコンクリートを打設し、側面にコンクリートパネルを設置する工事です。



底版コンクリート



工事名：1号幹線用水路ゲート設備製作据付工事
施工場所：小千谷市千谷川地内他
1号幹線用水路の流量を調整するためのゲートを製作し現地に据付を行う工事です。



ゲート扉体の工場製作

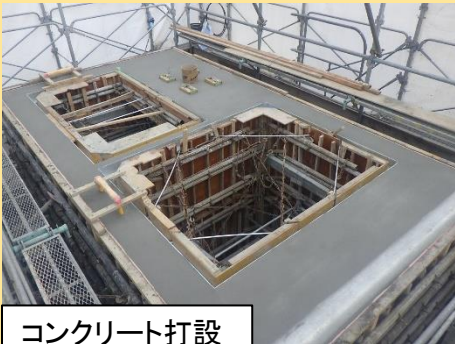


ゲート戸当りの工場製作

工事名：1号幹線用水路千城分水工付帯工事
施工場所：小千谷市千谷川地内
新1号トンネルから、千城揚水機場へ分水するための接続工を行う工事です。



二連分水槽の鉄筋組立

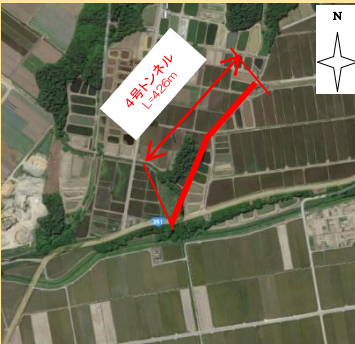


コンクリート打設

工事名：2号幹線用水路4号トンネル工事
施工場所：長岡市岩野地内他
水路トンネル内の鋼板において、腐食や塗装の劣化が確認されたため、部分的な塗装補修を行う工事です。



塗装補修作業



農業体験の実施

■農業体験を実施！（12/12～12/13）

12月12日（月）、12月13日（火）事業所の係員7名が地域農業を学ぶ農業研修として、地区内長岡市の担い手農業法人ホープイン中沢にて、当日出荷する作物の収穫・調整出荷作業を体験しました。

ホープイン中沢では育苗ハウスを利用したブロッコリーやカリフラワー、アスパラ菜の栽培、専用工場でのもちの受託生産などを行っています。

事業所係員は1日目は4名、2日目は3名に分かれて、地域のスーパーマーケットで直売する野菜の収穫や、花卉などの雑物撤去、計量、袋詰めを行いました。また、自社倉庫に保管した米を卸業者に出荷するための梱包作業やカントリーエレベーターで乾燥を終えた大豆の引き取り、黒紫米という付加価値米の袋詰めを行いました。さらに新たに挑戦するきのこ栽培のためのほだ木の管理も体験しました。

事業目的の一つである担い手の経営規模の拡大に向けた多様なアプローチを獲得するため、今後とも本農業研修を継続して実施していく予定です。



米卸業者向け出荷作業



計量・包装作業



ブロッコリー収穫作業



ほだ木管理作業